



災害時ボランティア活動  
実態調査報告書  
Disaster volunteer activity investigation report

2019

## はじめに

ボランティア元年と呼ばれた1995年の阪神淡路大震災をはじめとする大規模災害の経験から、被災者支援において災害時のボランティア活動は不可欠なものとなっています。

地域課題の解決に取り組むNPOやボランティア団体の中には、災害時にもその専門性や得意な活動分野を活かして、多様なニーズに対応したきめ細やかな支援が行われるところも見受けられます。

現在、災害時には、社会福祉協議会によって設置運営された災害ボランティアセンターが地域の支援の拠点となっているところです。

特に、近年では、より適切で効果的な被災者支援を行うため、行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア等が協働して取り組む仕組みができつつあり、いざというときに円滑に効果を発揮するためには、こうした機関や団体による平時からの顔の見える関係づくりや連携した取組が重要となっています。

そこで、栃木県においても、災害時におけるNPO・ボランティア等が行う様々な支援を調整する仕組みや平時における団体間の連携体制について検討を始めることとしました。

この報告書は、検討を進めるための基礎資料として、栃木県県民生活部県民文化課と国立大学法人宇都宮大学と連携・協働して、災害時におけるNPO法人の活動実態や県内外の中間支援組織の取組状況を調査し、まとめたものです。

各地域においても、連携体制構築の一助となれば幸いです。

## 目次

第1章 アンケート調査	p.3
第1節 調査概要	
1 目的	
2 実施期間	
3 方法	
4 結果の概要	
5 結果の見方	
第2節 調査結果	
1 回答団体の主たる活動分野	
2 回答情報の活用に関する確認	
3 これまでの災害時の支援活動の経験について	
4 今後の災害時の支援活動について	
5 他団体等との連携・協働について	
6 回答団体における災害への備え	
第2章 訪問調査〈県内市民活動支援センター〉	p.11
第1節 調査概要	
1 目的	
2 実施期間	
3 対象	
4 方法	
第2節 調査結果	
1 災害支援の位置づけ	
2 支援活動の実態	
3 関係機関との協力体制	
4 ボランティア団体等の活動状況と協力体制	
5 今後の取組	
第3章 訪問調査〈たすけあいセンター JUNTOS   茨城県常総市〉	p.19
第1節 調査概要	
1 目的	
2 視察の概要	
3 主な視察内容	
4 参加者	
第2節 調査結果	
第4章 考察	p.27
1 アンケート調査	
2 訪問調査〈県内市民活動支援センター〉	
3 訪問調査〈たすけあいセンター JUNTOS   茨城県常総市〉	
4 提言	
資料編	p.33
1 調査票（アンケート調査）	
2 単純集計表（アンケート調査：主たる活動分野、確認事項Ⅰ～Ⅱ、問1～8、問11～12）	
3 自由記述回答（アンケート調査：問9～10、一部抜粋）	
4 調査員等	